

(特選)

☆元旦の箸の長短四世代

良月

祖父母、父母、子供、孫の四世代が正月に集まった。お節料理をいただく箸も孫は短く、子供は孫よりも長く、父母と祖父母は子供より長くなど箸に長短の気配りが。元旦のめでたい景を箸に焦点を当てて捉えた。日本の正月の景が目に浮かぶ。

・金つぎの金輝くや雑煮碗

たか志

罎の入った雑煮用の茶碗が金つぎで修復されている。その修復箇所が金で輝いている。先祖代々伝わってきた茶碗を大切に取り扱い、雑煮を食べながら楽しい会話が弾んでいる。金つぎの金にめでたさも。

・碁仇の地酒下げ来る四日かな

進

三箇日も過ぎた。四日早々に日頃から碁を楽しんでいる近所の友達が手に入れた美味しい地酒を一升瓶で持ってきた。左手に盃を、右手で碁石を。ちびりちびりと酒を楽しみながら。

(入選)

- ・来し方と来る日々思ふ初湯かな
- ・門松に並び自撮りの娘かな
- ・大晦日下り列車は国訛り
- ・干支の蛇置かれし居間にお年玉
- ・老いたれど脱皮の干支ぞ初御空
- ・闇空をあかつきに染め初日の出

良月

繁好

よしまさ

邦夫

玄舟

一江

(佳作)

- ・ふるさとは八十路に遠し初山河
- ・青天や大門松の朱の鳥居
- ・長話の国の訛りや初電話
- ・微睡みつ句作推敲去年今年
- ・門松や和服きめ込み孫来たり
- ・雪しまく北国街道鬼太鼓
- ・日本の平和念じて年新た
- ・門松に手打ち蕎麦屋の暖簾かな
- ・孫からの紙門松や飾り置き
- ・元旦や別刷り厚き朝刊紙
- ・にこにここと外国人の御慶かな
- ・中天に寒満月や足湯入る

進

良月

繁好

邦夫

進

進

清

邦夫

かつを

繁好

忠男

かつお